

橋 り よ う 定 期 点 検 調 書

橋りょう番号 371812103145-

橋りょう名 オオブバシ
大父橋

路 線 名 高岡大父木地線

所 在 地 琴浦町大字大父

橋りょう定期点検調書その 1 橋りょう諸元, 総合点検結果

橋りょう番号		ブリガナ	オオブバン		架設年 (西暦)		橋長		— 径間数 — 桁種		事務所名	琴浦町		点検者	西谷技術コンサルタント㈱ 川田, 山本		点検日	2020/2/12				
371812103145-		名称	大父橋			S36 1961		38.9m		2	3	ホ	ステン桁	所 在 地	琴浦町大字大父			路線名	高岡大父木地線			
交差区分 名称		3	倉坂川		上部工型式		ポステンPCT桁橋				調書区分数	1		積雪寒冷地		—	備 考 (補修履歴等)		詳細調査履歴			
橋りょう全幅員		5.20 m		下部工 形 式	A1橋台		逆T式橋台 (推定)				床版支間		1.31 m		凍結防止剤散布		—					
自動車交通量		少ない 台/日			A2橋台		逆T式橋台 (推定)				支承材		鋼製		海岸からの距離		9.5km					
うち大型車交通量		台/日			橋 脚		壁式橋脚				伸縮装置		鋼製		鋼橋塗装系		—					
緊急輸送道路		— 次		基礎形式		直接基礎 (推定)				高欄種別		コンクリート		橋面防水処理		—	緯度		経度			
														35° 25′ 57.0″		133° 37′ 21.0″						
定期点検調書その1 総合点検結果	劣 化 ・ 損 傷 部 位			要 素 番 号		変状度		劣 化 ・ 損 傷 内 容						総合評価 (補修の時期・工法, 緊急対応など)				健全性評価				
	上部工	コンクリート床版	①左側端張出し		ii		遊離石灰 ii						間詰コンクリート継目部の遊離石灰は、継目から漏水は観られず、降雨時においても乾燥した状態であることから、鉄筋腐食には至っていないと判断し、経過観察とする。				I					
			②左側歩道下																			
			③車道下		ii		遊離石灰 ii															
			④右側歩道下																			
			⑤右側端張出し		ii		遊離石灰 ii															
		主 桁 (コンクリート)	①左側端耳桁		iii		剥離 ii、定着部の異常 iii、うき iii						主桁の鉄筋露出は、かぶり不足による中性化で鉄筋腐食が生じたものと判断する。局部的で軽微であるため、経過観察とする。主桁定着部の鋼材露出と横桁定着部のうきは、桁を連結する重要な部位であるため、対策が必要である。				III					
			②左側歩道下																			
			③車道下		i																	
			④右側歩道下																			
			⑤右側端耳桁		iii		剥離 ii、定着部の異常 iii															
		横桁・縦桁等		⑥		iii		剥離 ii、定着部の異常 iii、うき iii														
	下部工	橋 台	A1 [有筋]		iii		欠損 ii、うき iii						堅壁の欠損と砂すじは、局部的で鉄筋露出も観られないため、経過観察とする。胸壁のうきは、一体性の確保を目的とした対策が必要である。				III					
			A2 [有筋]		ii		剥離 ii															
		基 礎	橋台・橋脚とも		目視困難		ひびわれ ii、鉄筋露出 ii						堅壁の鉄筋露出は、局部的で軽微であるため、経過観察とする。施工不良による豆板 (剥離)、コールドジョイントは、局部的で軽度であるため、経過観察とする。				I					
			P1		ii																	
			P2																			
			P3																			
			P4																			
			P5																			
			P6																			
		支承部	支承本体 (アンカーボルト)			v		腐食 v、亀裂 iii、遊間の異常 ii						支承の著しい腐食、サイドブロック付け根部の亀裂は、支承機能が果たせない状態であることから、対策が必要である。				III				
			落橋防止装置 (鋼製部)																			
			〃 (Co部), 変位制限装置等																			
	路上部	舗 装		iii		路面の凹凸 iii、舗装の異常 iii						路肩端部の空洞化、伸縮装置の遊間の異常、止水機能の低下、後打ちコンクリート下部からの漏水、排水管の防食機能の劣化、腐食は、対策が必要である。地覆水切りの欠損、うきは、機能低下のため、対策が必要である。高欄全体の鉄筋露出は、腐食抑制対策が必要である。				III						
		伸縮装置		iii		遊間の異常 ii、止水機能 iii、漏水 iii、うき iii																
		排水桝・排水管		iv		防食機能の劣化 iii、腐食 iv、欠損 ii																
		点検施設																				
		地 覆		iii		ひびわれ iii、欠損 iii、遊離石灰 ii、うき iii																
		鋼製高欄・防護柵 (ガードレール)																				
コンクリート高欄 (壁式)			iii		鉄筋露出 iii、欠損 ii、うき iii																	
														橋りょうの健全性評価		III						

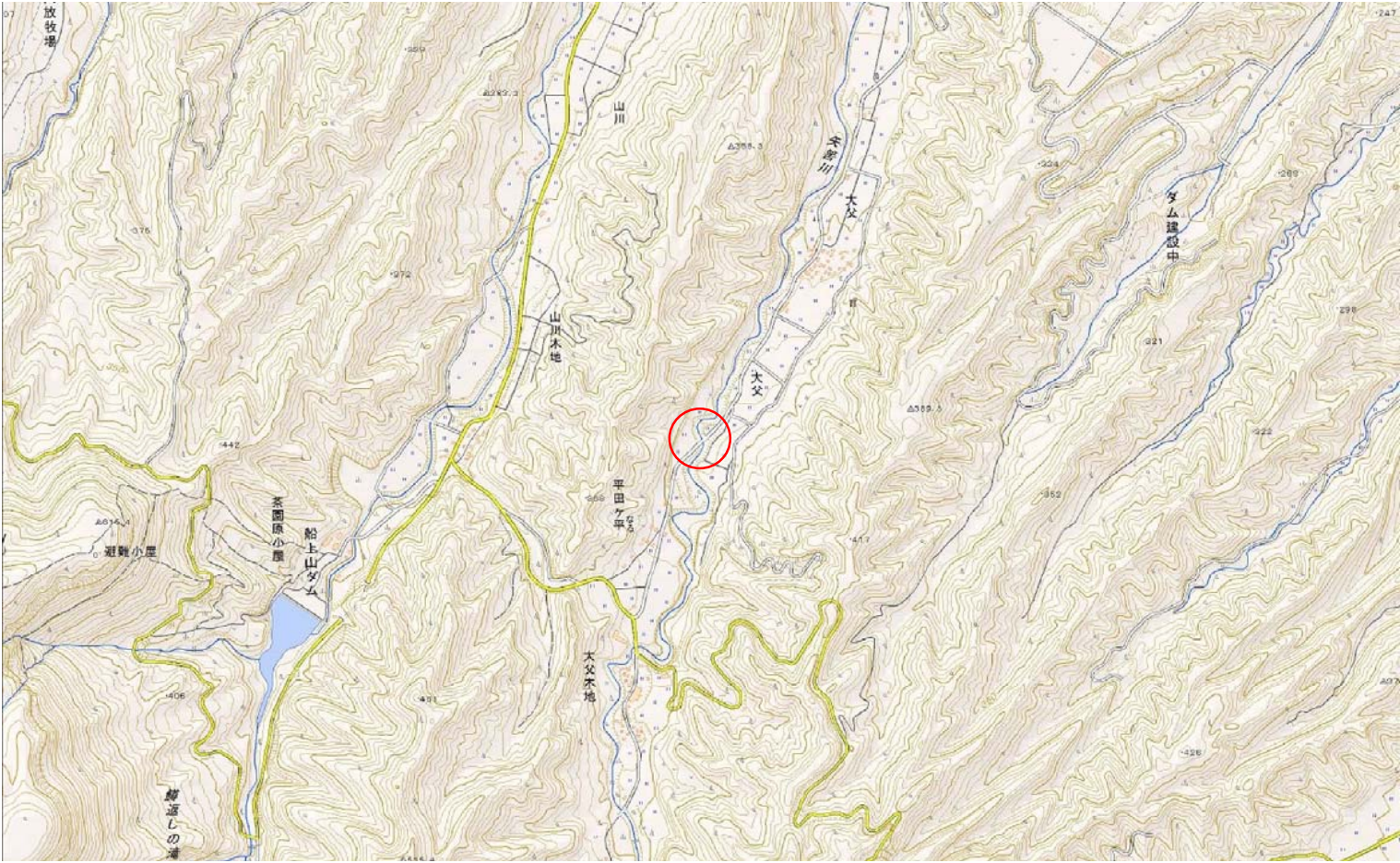
橋りょう番号・名称	オオブashi	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本	点検日	2020. 2. 12
371812103145-	大父橋	S36(1961)	38. 9m	2	ホースT桁	所在地	琴浦町大字大父	高岡大父木地線	

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
※既存の図面等がない場合は概略図でよい

位置図(広域)

Non Scale

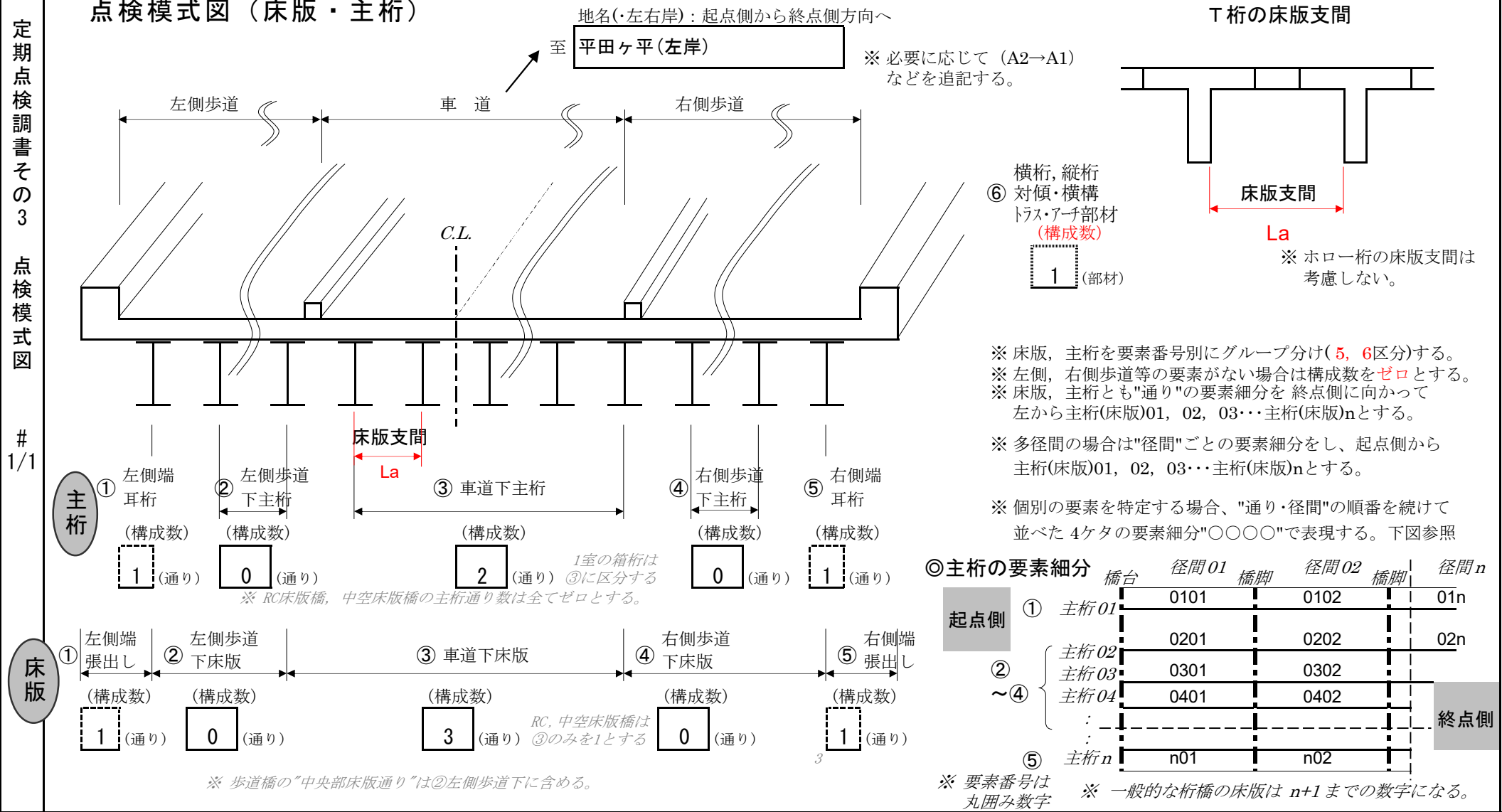


橋りょう番号・名称	オオプバシ	架設年(西暦)	橋長 径間数 桁種	事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本	点検日	2020. 2. 12
371812103145-	大父橋	S36 (1961)	38. 9m 2 ホースT桁	所在地	琴浦町大字大父	路線名	高岡大父木地線

定期点検調査その3 点検模式図

1/1

点検模式図（床版・主桁）



橋りょう番号・名称		オオブパン		架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本		■点検日 2020. 2. 12									
371812103145-		大父橋		S36 (1961) 38.9m 2 ホーステンT桁		所在地		琴浦町大字大父		高岡大父木地線									
定期点検調書その4 現地状況写真 # 1/4	起点側→ 終点側					1	終点側→ 起点側					2							
																			
	上 流→ 下 流					3	下 流→ 上 流					4							
終点側 ← A2橋台 					起点側 → A1橋台					起点側 ← A1橋台 					終点側 → A2橋台				

橋りょう番号・名称		架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種		事務所名		■点検日 2020. 2. 12	
371812103145- オオブパン		S36 (1961) 38. 9m 2 ホーステンT桁		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本			
大父橋				所在地		琴浦町大字大父 高岡大父木地線	
下部工(起点側)				下部工(終点側)			
							
床版(下側から)				支承			
							

定期点検調書その4
現地状況写真
2/4

橋りょう番号・名称		オオブパン		架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本		■点検日 2020. 2. 12	
371812103145-		大父橋		S36 (1961) 38. 9m 2 ホーステンT桁		所在地		琴浦町大字大父		高岡大父木地線	
P1橋脚		9		伸縮装置		10					
定期点検調書その4 現地状況写真 # 3/4		起点側 		終点側 							
コンクリート高欄		11		橋名板		12					
											

橋りょう番号・名称		オオブパン		架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本		■点検日 2020. 2. 12	
371812103145-		大父橋		S36 (1961) 38. 9m 2 ホ° ステンT桁		所 在 地		琴浦町大字大父		高岡大父木地線	
定期点検調書その4 現地状況写真 # 4/4		橋名板				添架物					
											

橋りょう番号・名称			架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本		■点検日 2020. 2. 12						
371812103145- 大父橋			S36(1961)		38. 9m 2 ホースT桁		所在地		琴浦町大字大父		路線名	高岡大父木地線					
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)							緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)	除 外 できる 要因の 抹 消			
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分								
定期点検調書 その5 上部工・ コンクリート床版評価 # 1/3	左 側 張出し 床 版 構成する 床版通り数 〔 1 〕 その 1	構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=小, 間隔=粗 :11 幅=小, 間隔=密 :12	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ, :57 幅0. 3mm以上の曲げ "		無	I	張出床版に遊離石灰が観られるが、 局部的であり、錆汁等も観られない ため、経過観察とする。	塩害				
		構造物への影響小															
		1 方向 床版ひびわれ	P. 79	無	幅=中, 間隔=密 :22 幅=中, 間隔=密 :22	幅=大, 間隔=粗 :31 幅=大, 間隔=密 :41	幅0. 2mm以上が主 :51 部分的な角落ち		疲労								
		2 方向(格子状)															
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出してい るが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、 腐食が著しい								中性			
		漏水 遊離石灰 錆汁	P. 71	無	漏水が生じているが、 錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じて いるが、錆汁はない	ひびわれから 著しい漏水や遊離石灰 または泥、錆び汁の混 入がある								凍害			
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である											
	補修・補強材の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる	※その他著しいもの、 除外する劣化要因は											
	その他著しいもの (損傷度 iii のもの)	目視 困難	無	抜け落ち 変色 劣化	異常な音、振動	漏水 滯水	異常な たわみ うき										
	車道下 床 版 構成する 床版通り数 〔 3 〕 その 1	構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=小, 間隔=粗 :11 幅=小, 間隔=密 :12	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ, :57 幅0. 3mm以上の曲げ "					無	I	間詰コンクリート 継目部に遊離石灰 が観られる。継目 から漏水は観られ ず、降雨時におい ても乾燥した状態 であることから、 鉄筋腐食には至っ ていないと判断 し、経過観察とす る。	塩害	
		構造物への影響小															
		1 方向 床版ひびわれ	P. 79	無	幅=中, 間隔=密 :22 幅=中, 間隔=密 :22	幅=大, 間隔=粗 :31 幅=大, 間隔=密 :41	幅0. 2mm以上が主 :51 部分的な角落ち		疲労								
		2 方向(格子状)															
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出してい るが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、 腐食が著しい											中性
漏水 遊離石灰 錆汁		P. 71	無	漏水が生じているが、 錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じて いるが、錆汁はない	ひびわれから 著しい漏水や遊離石灰 または泥、錆び汁の混 入がある					凍害							
変形・欠損		P. 100	無	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である												
補修・補強材の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる	※その他著しいもの、 除外する劣化要因は												
その他著しいもの (損傷度 iii のもの)	目視 困難	無	抜け落ち 変色 劣化	異常な音、振動	漏水 滯水	異常な たわみ うき											

橋りょう番号・名称				架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本			■点検日 2020. 2. 12			
371812103145- 大父橋				S36(1961)		38. 9m 2 ホースT桁		所在地		琴浦町大字大父			路線名	高岡大父木地線		
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)							緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)	除 外 できる 要因の 抹 消		
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分							
定期点検調書 その5 上部工・コンクリート床版評価 # 2/3	C3 車道下床版	構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26	幅=小, 間隔=密 :36	幅=中, 間隔=密 :46	幅=大, 間隔=密 :56		無	I	間詰コンクリート 継目部に遊離石灰 が観られる。継目 から漏水は観られ ず、降雨時に おいても乾燥した 状態であること から、鉄筋腐食 には至っていない と判断し、経過 観察とする。	塩害			
		構造物への影響小		幅=小, 間隔=粗 :11	幅=中, 間隔=粗 :21	幅=中, 間隔=粗 :37	幅=大, 間隔=粗 :47	せん断ひびわれ, :57 幅0. 3mm以上の曲げ〃					疲労			
		1 方向		幅=小, 間隔=密 :12	幅=中, 間隔=密 :22	幅=大, 間隔=粗 :31	幅=大, 間隔=密 :41						7ル骨			
		床版ひびわれ	P. 79	無	ヘアークラック程度	幅は0. 1mm以下が主	幅0. 2mm以下が主	幅0. 2mm以上が主 :51 部分的な角落ち					中性			
		2 方向(格子状)				間隔0. 5m以上 :32 幅0. 1mm以下が主	間隔0. 5～0. 2m :42 幅0. 2mm以下が主	間隔0. 2m、 :52 幅0. 2mm、角落ち有					凍害			
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出して いるが、腐食は 軽微										
		構成する 床版通り数 〔 3 〕	P. 71	無	漏水が生じているが、 :21 錆汁や遊離石灰は ない 遊離石灰が生じ て :22 いるが、錆汁は ない	ひびわれから :31 著しい漏水や遊 離石灰または泥 、錆び汁の混入 がある										
	その 2	変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、 欠損 :21 ・著しい機能低 下は無い	・著しい変形、 欠損 :31 ・著しい機能低 下である			※その他著しい もの、除外する 劣化要因は							
		補修・補強材の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見 られる	著しい損傷が見 られる										
		その他著しいもの (損傷度 iii のもの)	目視困難	無	抜け落ち 変色 劣化	異常な 漏水 音、振動 滞水	異常な たわみ うき									
	C5 右側張出し床版	構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26	幅=小, 間隔=密 :36	幅=中, 間隔=密 :46	幅=大, 間隔=密 :56					無	I	間詰コンクリート 継目部に遊離石灰 が観られる。継目 から漏水は観られ ず、降雨時に おいても乾燥した 状態であること から、鉄筋腐食 には至っていない と判断し、経過 観察とする。	塩害
		構造物への影響小		幅=小, 間隔=粗 :11	幅=中, 間隔=粗 :21	幅=中, 間隔=粗 :37	幅=大, 間隔=粗 :47	せん断ひびわれ, :57 幅0. 3mm以上の曲げ〃								疲労
		1 方向		幅=小, 間隔=密 :12	幅=中, 間隔=密 :22	幅=大, 間隔=粗 :31	幅=大, 間隔=密 :41									7ル骨
		床版ひびわれ	P. 79	無	ヘアークラック程度	幅は0. 1mm以下が主	幅0. 2mm以下が主	幅0. 2mm以上が主 :51 部分的な角落ち								中性
2 方向(格子状)					間隔0. 5m以上 :32 幅0. 1mm以下が主	間隔0. 5～0. 2m :42 幅0. 2mm以下が主	間隔0. 2m、 :52 幅0. 2mm、角落ち有		凍害							
剥離 鉄筋露出		P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出して いるが、腐食は 軽微											
構成する 床版通り数 〔 3 〕		P. 71	無	漏水が生じているが、 :21 錆汁や遊離石灰は ない 遊離石灰が生じ て :22 いるが、錆汁は ない	ひびわれから :31 著しい漏水や遊 離石灰または泥 、錆び汁の混入 がある											
その 3	変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、 欠損 :21 ・著しい機能低 下は無い	・著しい変形、 欠損 :31 ・著しい機能低 下である											
	補修・補強材の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見 られる	著しい損傷が見 られる											
	その他著しいもの (損傷度 iii のもの)	目視困難	無	抜け落ち 変色 劣化	異常な 漏水 音、振動 滞水	異常な たわみ うき										

橋りょう番号・名称				架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本			■点検日 2020. 2. 12					
371812103145- 大父橋				S36(1961)		38.9m 2 ホーストン桁		所在地		琴浦町大字大父			路線名		高岡大父木地線			
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)							緊急 処理の 必要性		健全性 評価		所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)		除 外 できる 要因の 抹 消	
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分									
定期点検調書 その5 上部工・コンクリート床版評価 # 3/3	右側張出し床版 構成する床版通り数 〔1〕 その1	構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=小, 間隔=密 :12 幅=中, 間隔=密 :22	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=中, 間隔=粗 :31 幅=大, 間隔=粗 :31 幅=大, 間隔=密 :41	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ :57 幅0.3mm以上の曲げ //		無	I	張出床版に遊離石灰が観られるが、局所的であり、錆汁等も観られないため、経過観察とする。	塩害					
		1方向 床版ひびわれ	P. 79	無	ヘアークラック程度	幅は0.1mm以下が主	幅0.2mm以下が主	幅0.2mm以上が主 :51 部分的な角落ち					疲労					
		2方向(格子状)				間隔0.5m以上 :32 幅0.1mm以下が主	間隔0.5~0.2m :42 幅0.2mm以下が主	間隔0.2m、 :52 幅0.2mm、角落ち有					7/8骨					
		剥離鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出しているが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、腐食が著しい :32							中性					
		漏水遊離石灰錆汁	P. 71	無	漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じているが、錆汁はない :22	ひびわれから著しい漏水や遊離石灰または泥、錆び汁の混入がある :31							凍害					
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である												
		補修・補強材の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる	※その他著しいもの、除外する劣化要因は											
	その他著しいもの(損傷度iiiのもの)	目視困難	無	抜け落ち 変色 劣化	異常な音、振動	漏水 滞水	異常なたわみ うき											
	構成する床版通り数	構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=小, 間隔=密 :12 幅=中, 間隔=密 :22	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=中, 間隔=粗 :31 幅=大, 間隔=粗 :31 幅=大, 間隔=密 :41	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ :57 幅0.3mm以上の曲げ //		無	I	張出床版に遊離石灰が観られるが、局所的であり、錆汁等も観られないため、経過観察とする。	塩害					
		1方向 床版ひびわれ	P. 79	無	ヘアークラック程度	幅は0.1mm以下が主	幅0.2mm以下が主	幅0.2mm以上が主 :51 部分的な角落ち					疲労					
		2方向(格子状)				間隔0.5m以上 :32 幅0.1mm以下が主	間隔0.5~0.2m :42 幅0.2mm以下が主	間隔0.2m、 :52 幅0.2mm、角落ち有					7/8骨					
		剥離鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出しているが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、腐食が著しい :32							中性					
		漏水遊離石灰錆汁	P. 71	無	漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じているが、錆汁はない :22	ひびわれから著しい漏水や遊離石灰または泥、錆び汁の混入がある :31							凍害					
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である												
補修・補強材の損傷		P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる	※その他著しいもの、除外する劣化要因は												
その他著しいもの(損傷度iiiのもの)	目視困難	無	抜け落ち 変色 劣化	異常な音、振動	漏水 滞水	異常なたわみ うき												

橋りょう番号・名称				架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本			■点検日 2020. 2. 12		
371812103145- 大父橋				S36(1961)		38. 9m 2 ホースT桁		所 在 地		琴浦町大字大父		路線名		高岡大父木地線	
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)								緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)	除 外 できる 要因の 抹 消
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分						
定期点検調書 その6b 上部工・Co主桁と横桁、縦桁等評価 #1/3	C1コ 左側端主 桁 (耳桁) 構成する桁通り数 〔 1 〕 その 1	構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=小, 間隔=密 :12 幅=中, 間隔=密 :22	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31 幅=大, 間隔=密 :41	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ, :57 幅0. 3mm以上の曲げ "		無	Ⅲ	主桁の鉄筋露出は、かぶり不足による中性化で鉄筋腐食が生じたものと判断する。局部的で軽微であるため、経過観察とする。定着部の鋼材露出と剥離は、かぶり不足による中性化が原因であると判断する。桁を連結する重要な部位であるため、対策が必要である。	塩害 疲労 アル骨 中性 凍害		
		構造物への影響小 剥離鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出しているが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、腐食が著しい									
		漏水遊離石灰錆汁	P. 71	無	漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じているが、錆汁はない	ひびわれから著しい漏水や遊離石灰または泥、錆び汁の混入がある									
		定着部の異常	P. 92	無	定着部のCoのひびわれから錆汁、定着部に損傷	定着部のコンクリートが剥離 定着部に著しい損傷									
		補修・補強材の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる									
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 ・著しい機能低下である									
		遊間の異常	P. 85	無	左右の遊間が極端に異なる又は遊間が直角方向にずれている	遊間が異常に広い 継手の歯の完全な離れ又は桁とバラハット、桁同士の接触									
		その他著しいもの(損傷度iiiのもの)	目視困難	無	破断 変色 劣化	異常な音、振動	漏水 滞水	異常なたわみ	うき						
	C3コ 車道下主 桁 構成する桁通り数 〔 2 〕 その 1	構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=小, 間隔=密 :12 幅=中, 間隔=密 :22	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31 幅=大, 間隔=密 :41	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ, :57 幅0. 3mm以上の曲げ "		無	Ⅰ	変状は観られない。	塩害 疲労 アル骨 中性 凍害		
		構造物への影響小 剥離鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出しているが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、腐食が著しい									
		漏水遊離石灰錆汁	P. 71	無	漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じているが、錆汁はない	ひびわれから著しい漏水や遊離石灰または泥、錆び汁の混入がある									
		定着部の異常	P. 92	無	定着部のCoのひびわれから錆汁、定着部に損傷	定着部のコンクリートが剥離 定着部に著しい損傷									
		補修・補強材の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる									
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 ・著しい機能低下である									
		遊間の異常	P. 85	無	左右の遊間が極端に異なる又は遊間が直角方向にずれている	遊間が異常に広い 継手の歯の完全な離れ又は桁とバラハット、桁同士の接触									
		その他著しいもの(損傷度iiiのもの)	目視困難	無	破断 変色 劣化	異常な音、振動	漏水 滞水	異常なたわみ	うき						

橋りょう番号・名称				架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本			■点検日 2020. 2. 12		
371812103145- 大父橋				S36 (1961)		38. 9m 2 ホースT桁		所在地		琴浦町大字大父		路線名	高岡大父木地線		
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)								緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)	除 外 できる 要因の 抹 消
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分						
定期点検調書 その6b 上部工・Co主桁と横桁、縦桁等評価 # 2/3	C3コ 車道下主桁 構成する桁通り数 〔 2 〕 その 2	構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=小, 間隔=密 :12	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ, :57 幅0. 3mm以上の曲げ //		無	I	変状は観られない。	塩害		
		構造物への影響小											疲労		
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出して いるが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、 腐食が著しい							アル骨		
		漏水 遊離石灰 錆汁	P. 71	無	漏水が生じているが、 錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じて いるが、錆汁はない	ひびわれから 著しい漏水や遊離石灰 または泥、錆び汁の混入 がある							中性		
		定着部の異常	P. 92	無	定着部のCoのひびわれ から錆汁、定着部に損傷	定着部のコンクリートが剥離 定着部に著しい損傷							凍害		
		補修・補強材 の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる									
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 ・著しい機能低下である									
		遊間の異常	P. 85	無	左右の遊間が 極端に異なる又は遊間が 直角方向にずれている	遊間が異常に広い 継手の歯の完全な離れ又は桁 とバラハット、桁同士の接触									
		その他著しいもの (損傷度iiiのもの)	目視困難	無	破断 変色 劣化	異常な音、振動	漏水 滞水	異常な たわみ うき							
	C5コ 右側端主桁 (耳桁) 構成する桁通り数 〔 1 〕 その 1	構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=小, 間隔=密 :12	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ, :57 幅0. 3mm以上の曲げ //		無	III	主桁の鉄筋露出は、かぶり不足による中性化で鉄筋腐食が生じたものと判断する。局部的で軽微であるため、経過観察とする。 定着部の鋼材露出と剥離は、かぶり不足による中性化が原因であると判断する。桁を連結する重要な部位であるため、対策が必要である。	塩害		
		構造物への影響小											疲労		
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出して いるが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、 腐食が著しい							アル骨		
		漏水 遊離石灰 錆汁	P. 71	無	漏水が生じているが、 錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じて いるが、錆汁はない	ひびわれから 著しい漏水や遊離石灰 または泥、錆び汁の混入 がある							中性		
		定着部の異常	P. 92	無	定着部のCoのひびわれ から錆汁、定着部に損傷	定着部のコンクリートが剥離 定着部に著しい損傷							凍害		
		補修・補強材 の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる									
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 ・著しい機能低下である									
		遊間の異常	P. 85	無	左右の遊間が 極端に異なる又は遊間が 直角方向にずれている	遊間が異常に広い 継手の歯の完全な離れ又は桁 とバラハット、桁同士の接触									
		その他著しいもの (損傷度iiiのもの)	目視困難	無	破断 変色 劣化	異常な音、振動	漏水 滞水	異常な たわみ うき							

橋りょう番号・名称				架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本			■点検日 2020. 2. 12						
371812103145- 大父橋				S36(1961)		38. 9m 2 ホースT桁		所 在 地		琴浦町大字大父		路線名		高岡大父木地線					
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)								緊急 処理の 必要性		健全性 評価		所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)		除 外 できる 要因の 抹 消	
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分										
定期点検調書 その6b 上部工・Co主桁と横桁、縦桁等評価 #3/3	C6コ 横桁, 縦桁 対傾・横構 アーチ部材 トラス部材 構成する 桁通り数 〔 1 〕 その 1	構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=小, 間隔=密 :12 幅=中, 間隔=密 :22	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31 幅=大, 間隔=密 :41	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ, :57 幅0. 3mm以上の曲げ //		無	Ⅲ	うきは、かぶり不足による中性化で生じたものと判断する。局部的で軽微であるため、経過観察とする。定着部の鋼材露出は竣工当初からのものであり、剥離も局部的で表面的なものであるため、経過観察とする。定着部のうきはかぶり不足による中性化が原因であると判断する。桁を連結する重要な部位であるため、対策が必要である。	塩害						
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出して いるが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、 腐食が著しい							疲労						
		漏水 遊離石灰 錆汁	P. 71	無	漏水が生じているが、 錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じて いるが、錆汁はない	ひびわれから 著しい漏水や遊離石灰 または泥、錆び汁の混入 がある							アル骨						
		定着部の異常	P. 92	無	定着部のCoのひびわれ から錆汁、定着部に損傷	定着部のコンクリートが剥離 定着部に著しい損傷							中性						
		補修・補強材 の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる							凍害						
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である													
		遊間の異常	P. 85	無	左右の遊間が 極端に異なる又は遊間が 直角方向にずれている	遊間が異常に広い :31 継手の歯の完全な離れ又は桁 とバラハット、桁同士の接触													
		その他著しいもの (損傷度iiiのもの)	目視 困難	無	破断 変色 劣化	異常な 音, 振動	漏水 滞水	異常な たわみ	うき										
	構成する 桁通り数	構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=小, 間隔=密 :12 幅=中, 間隔=密 :22	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31 幅=大, 間隔=密 :41	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ, :57 幅0. 3mm以上の曲げ //					塩害						
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出して いるが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、 腐食が著しい							疲労						
		漏水 遊離石灰 錆汁	P. 71	無	漏水が生じているが、 錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じて いるが、錆汁はない	ひびわれから 著しい漏水や遊離石灰 または泥、錆び汁の混入 がある							アル骨						
		定着部の異常	P. 92	無	定着部のCoのひびわれ から錆汁、定着部に損傷	定着部のコンクリートが剥離 定着部に著しい損傷							中性						
		補修・補強材 の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる							凍害						
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である													
		遊間の異常	P. 85	無	左右の遊間が 極端に異なる又は遊間が 直角方向にずれている	遊間が異常に広い :31 継手の歯の完全な離れ又は桁 とバラハット、桁同士の接触													
		その他著しいもの (損傷度iiiのもの)	目視 困難	無	破断 変色 劣化	異常な 音, 振動	漏水 滞水	異常な たわみ	うき										

橋りょう番号・名称			架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本		■点検日 2020.2.12			
371812103145- 大父橋			S36(1961)		38.9m 2 ホースT桁		所在地 琴浦町大字大父		路線名 高岡大父木地線					
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)							緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)	除 外 できる 要因の 抹 消
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分					
定期点検調書その7 下部工・コンクリート橋台 # 1/1	① A1橋台 鉄筋の有 無 [有筋]	構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=小, 間隔=密 :12	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=中, 間隔=密 :22	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ, :57 幅0.3mm以上の曲げ "		無	Ⅲ	堅壁の欠損は、施工不良によるものと判断する。局部的で鉄筋露出も観られないため、経過観察とする。 胸壁のうきは、一体構造である親柱に除雪作業等による外力が作用して生じたものと判断する。亀裂幅が広く、鉄筋とコンクリートの付着性が低下しているため、一体性の確保を目的とした対策が必要である。	塩害 疲労 アル骨 中性 凍害	
		構造物への影響小												
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出しているが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、腐食が著しい								
		漏水 遊離石灰 錆汁	P. 71	無	漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じているが、錆汁はない	ひびわれから著しい漏水や遊離石灰または泥、錆び汁の混入がある								
		定着部の異常	P. 92	無	定着部のコンクリートのひびわれから錆汁定着部に損傷	定着部のコンクリートが剥離 定着部に著しい損傷								
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 ・著しい機能低下である	※その他著しいもの、除外する劣化要因は複数選択可とする。							
		補修・補強材の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる								
		その他著しいもの(損傷度iiiのもの)	目視困難	無	破断 変色 劣化	異常な音、振動	漏水 滞水	異常なたわみ うき						
	② A2橋台 鉄筋の有 無 [有筋]	構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=小, 間隔=密 :12	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=中, 間隔=密 :22	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ, :57 幅0.3mm以上の曲げ "		無	Ⅰ	堅壁の砂すじは、施工不良により生じたものと判断する。表面的なもので、軽微であるため、経過観察とする。	塩害 疲労 アル骨 中性 凍害	
		構造物への影響小												
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出しているが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、腐食が著しい								
		漏水 遊離石灰 錆汁	P. 71	無	漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じているが、錆汁はない	ひびわれから著しい漏水や遊離石灰または泥、錆び汁の混入がある								
		定着部の異常	P. 92	無	定着部のコンクリートのひびわれから錆汁定着部に損傷	定着部のコンクリートが剥離 定着部に著しい損傷								
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 ・著しい機能低下である	※その他著しいもの、除外する劣化要因は複数選択可とする。							
		補修・補強材の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる								
		その他著しいもの(損傷度iiiのもの)	目視困難	無	破断 変色 劣化	異常な音、振動	漏水 滞水	異常なたわみ うき						

橋りょう番号・名称		架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本		■点検日 2020.2.12							
371812103145-		大父橋		S36(1961)		38.9m 2 ホースT桁		所在地		琴浦町大字大父		路線名		高岡大父木地線			
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)						緊急 処理の 必要性		健全性 評価		所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)		除 外 できる 要因の 抹 消	
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分								
定期 点検調書 その7 橋台Co基礎	③ 基 礎 (Co)	構造物への影響大 ひびわれ 構造物への影響小	P. 52	無 :-1	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=小, 間隔=密 :12 幅=中, 間隔=密 :22	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ, :57 幅0.3mm以上の曲げ //		無	I	確認できる点検項目については、変状は観られない。	塩害				
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出しているが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、腐食が著しい :32			疲労								
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である			アル骨								
		沈下 移動 傾斜	P. 103	無		下部工が沈下・移動・傾斜している :31			中性凍害								
		洗掘	P. 104	無	基礎が流水のため洗掘されている :21	基礎が流水のため著しく洗掘されている :31											
		その他著しいもの (損傷度iiiのもの)	目視困難 :-1														
		定期 点検調書 その7 橋台鋼基礎 #1/1	③ 基 礎 (鋼製)	腐食	P. 38	無	深さ=小, 面積=小 :21	深さ=小, 面積=大 :31	深さ=大, 面積=小 :41				深さ=大, 面積=大 :51		無		
亀裂	P. 43			無	線状でない亀裂 :21 線状でも短く、少数。	線状の亀裂が生じている :31											
防食機能の劣化	P. 48			無	塗装> 防食皮膜が変色または局所的なうき :21 塗装> 防食皮膜が部分的剥離し下塗が露出 :22 メッキ> 局所的に防食 :23 皮膜が劣化し点錆が発生 :33 耐候性> 錆は 1~5mm程度で、粗い :24 耐候性> 錆は 5~25mm程度の鱗状 :25	塗装> 防食皮膜の劣化範囲が広く点錆が発生 :31 メッキ> 防食皮膜の劣化範囲が広く点錆が発生 :33 耐候性> 錆は層状の剥離がある :34											
沈下 移動 傾斜	P. 103			無		下部工が沈下・移動・傾斜している :31											
洗掘	P. 104			無	基礎が流水のため洗掘されている :21	基礎が流水のため著しく洗掘されている :31											
その他著しいもの (損傷度iiiのもの)	目視困難 :-1																

橋りょう番号・名称				架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本		■点検日 2020.2.12							
371812103145- 大父橋				S36(1961)		38.9m 2 ホーステン桁		所在地		琴浦町大字大父		路線名		高岡大父木地線					
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)								緊急 処理の 必要性		健全性 評価		所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)		除 外 できる 要因の 抹 消	
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分										
定期 点検 調書 その 8a 下部工・ コンクリート 橋脚評価 # 1/1	P1	構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=小, 間隔=密 :12	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ :57 幅0.3mm以上の曲げ "		無	I	堅壁の鉄筋露出 は、かぶり不足に よる中性化で生じ たものと判断す る。局所的で軽微 であるため、経過 観察とする。 施工不良による豆 板（剥離）、コー ルドジョイント は、局所的で軽度 であるため、経過 観察とする。	塩害 疲労 アル骨 中性 凍害						
		構造物への影響小																	
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出して いるが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、 腐食が著しい													
		漏水 遊離石灰 錆汁	P. 71	無	漏水が生じているが、 錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じて いるが、錆汁はない	ひびわれから 著しい漏水や遊離石灰 または泥、錆び汁の混入 がある													
		定着部の異常	P. 92	無	定着部のコンクリート のひびわれから錆汁 定着部に損傷	定着部のコンクリート が剥離 定着部に著しい損傷													
		変形・欠損	P. 100	無	・局所的に変形、欠損 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 ・著しい機能低下である													
		補修・補強材 の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる													
		その他著しいもの (損傷度iiiのもの)	目視 困難	無	破断 変色 劣化	異常な 音, 振動	漏水 滞水	異常な たわみ うき											
		構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=小, 間隔=密 :12	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ :57 幅0.3mm以上の曲げ "				堅壁の鉄筋露出 は、かぶり不足に よる中性化で生じ たものと判断す る。局所的で軽微 であるため、経過 観察とする。 施工不良による豆 板（剥離）、コー ルドジョイント は、局所的で軽度 であるため、経過 観察とする。	塩害 疲労 アル骨 中性 凍害						
		構造物への影響小																	
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出して いるが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、 腐食が著しい													
		漏水 遊離石灰 錆汁	P. 71	無	漏水が生じているが、 錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じて いるが、錆汁はない	ひびわれから 著しい漏水や遊離石灰 または泥、錆び汁の混入 がある													
		定着部の異常	P. 92	無	定着部のコンクリート のひびわれから錆汁 定着部に損傷	定着部のコンクリート が剥離 定着部に著しい損傷													
		変形・欠損	P. 100	無	・局所的に変形、欠損 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 ・著しい機能低下である													
		補修・補強材 の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる													
		その他著しいもの (損傷度iiiのもの)	目視 困難	無	破断 変色 劣化	異常な 音, 振動	漏水 滞水	異常な たわみ うき											

橋りょう番号・名称				架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本				■点検日 2020. 2. 12	
371812103145-				大父橋		S36(1961)		38. 9m 2 ホースT桁		所在地		琴浦町大字大父		路線名 高岡大父木地線	
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)								緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)	除 外 できる 要因の 抹 消
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分						
定期点検調査 その 9 支承部評価 # 1/1	① 支承 アンカ・ボルト含む 材質 〔鋼製〕	腐食	P. 38	:1	:1	深さ=小, 面積=小	深さ=小, 面積=大	深さ=大, 面積=小	深さ=大, 面積=大	無 Ⅲ 支承に著しい腐食が観られる。伸縮装置の止水機能が低下しており、漏水が原因であると判断する。支承機能が低下していることから、対策が必要である。 サイドブロック付け根部の亀裂は、橋軸直角方向に過大な力が作用したことで、生じたものと判断する。支承機能が果たせない状態であることから、対策が必要である。					
		亀裂	P. 43		無	:1	線状でない亀裂 線状でも短く、少数。	:1	線状の亀裂が生じている						
		ゆるみ 脱落	P. 45	無	:1	ボルトのゆるみ・ 脱落の箇所が少ない	:1	ボルトのゆるみ・ 脱落の箇所が多い							
		遊間の異常	P. 85	無	:1	左右の遊間が 極端に異なる又は遊間が 直角方向にずれている	:1	遊間が異常に広い 継ぎ手の歯が完全に離れ ている又は桁とパレット、 桁同士が接触している							
		変形・欠損	P. 100	無	:1	・局部的に変形、欠損 ・著しい機能低下は無い	:1	・著しい変形、欠損 ・著しい機能低下である							
		補修・補強材 の損傷	P. 74	無	:1	:1	軽微な損傷が見られる	:1	著しい損傷が見られる						
		防食機能の劣化	P. 48	無	:1	塗装> 防食皮膜が 変色または局所的なうき	:1	塗装> 防食皮膜の劣化範囲が 広く点錆が発生							
					:22	塗装> 防食皮膜が 部分的剥離し下塗が露出	:33	メッキ> 防食皮膜の 劣化範囲が広く点錆が発生							
					:23	メッキ> 局所的に防食 皮膜が劣化し点錆が発生	:31	メッキ> 防食皮膜の 劣化範囲が広く点錆が発生							
		沈下・移動・傾斜	P. 103	無	:1	:1		支点が沈下している 下部工が移動・傾斜	:31						
その他著しいもの (損傷度 iii のもの)	目視 困難	:1	無	破断	変色 劣化	異常な 音・振動	漏水 滞水	土砂 詰り	支承の 機能障害						

橋りょう番号・名称				架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本		■点検日 2020. 2. 12		
371812103145- 大父橋				S36(1961)		38. 9m 2 ホ°ストT桁		所 在 地		琴浦町大字大父		路線名	高岡大父木地線	
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)							緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)	除 外 できる 要因の 抹 消
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分					
定期 点検 調査	① 舗 装	路面の凹凸	P. 86	無	路面の段差が 2cm未満	路面の段差が 2cm以上					無	Ⅲ	路肩端部に転圧不足が原因と判断する空洞化が観られる。今後拡大することが懸念されるため、対策が必要である。	
		舗装の異常	P. 87	無		舗装の ひびわれ幅が 5mm以上 過度のたわみが発生								
その10 路上部1・舗装、 伸縮装置等評価#1/1	② 伸縮装置	遊間の異常	P. 85	無	左右の遊間が 極端に異なる又は遊間が 直角方向にずれている	遊間が異常に広い 継ぎ手の歯が完全に離れて いる又は桁とバ°レット、 桁同士が接触している					無	Ⅲ	外力により、胸壁のうきが 生じた際に、遊間幅が 上下流で異なると判断 する。伸縮機能が低下し ているため、対策が必要 である。 後打ちコンクリート下部 に岩塊が敷設されてお り、橋台背面の路面水等 がここから流入し、漏水 原因となっているため、 対策が必要である。	
		路面の凹凸	P. 86	無	路面の段差が 2cm未満	路面の段差が 2cm以上								
		止水機能		有		無								
		構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	幅=小, 間隔=粗 :11	幅=小, 間隔=粗 :26	幅=小, 間隔=密 :36	幅=中, 間隔=密 :46	幅=大, 間隔=密 :56						
		構造物への影響小		幅=小, 間隔=密 :12	幅=中, 間隔=粗 :21	幅=中, 間隔=粗 :37	幅=大, 間隔=粗 :47	せん断ひびわれ、 幅0. 3mm以上の曲げ "	:57					
		腐食	P. 38	:1	深さ=小, 面積=小	深さ=小, 面積=大	深さ=大, 面積=小	深さ=大, 面積=大	:51					
		亀裂	P. 43	無	線状でない亀裂 :21 線状でも短く、少数。	線状の亀裂が生じている								
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である								
		材質 不明	防食機能の劣化	P. 48	無	塗装> 防食皮膜が 変色または局所的なうき	塗装> 防食皮膜の劣化範囲が 広く点錆が発生							
						部分的剥離し下塗が露出	メッキ> 局所的に防食 :23 皮膜が劣化し点錆が発生	メッキ> 防食皮膜の :33 劣化範囲が広く点錆が発生						
	その他著しいもの (損傷度 iii のもの)	目視 困難	: -1 無	:1	破断 変色 劣化	異常な 音, 振動	- 漏水 滞水	土砂 詰り	うき					
	③ 排水桝 排水管	防食機能の劣化	P. 48	無	塗装> 防食皮膜が 変色または局所的なうき	塗装> 防食皮膜の劣化範囲が 広く点錆が発生					無	Ⅲ	排水管に防食機能の劣 化、腐食が観られる。欠 損しており、主桁に水か かりが生じているため、 対策が必要である。	
					塗装> 防食皮膜が 部分的剥離し下塗が露出	メッキ> 局所的に防食 :23 皮膜が劣化し点錆が発生	メッキ> 防食皮膜の :33 劣化範囲が広く点錆が発生							
					腐食	P. 38	:1	深さ=小, 面積=小	深さ=小, 面積=大	深さ=大, 面積=小				
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である								
	その他著しいもの (損傷度 iii のもの)	目視 困難	: -1 無	:1	破断 変色 劣化	異常な 音, 振動	- 漏水 滞水	土砂 詰り						

橋りょう番号・名称				架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本			■点検日 2020.2.12		
371812103145- 大父橋				S36(1961)		38.9m 2 ポストン桁		所在地		琴浦町大字大父		路線名	高岡大父木地線		
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)								緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)	除 外 できる 要因の 抹 消
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分						
定期点検調査 その11 路上部2・地覆, 評価#1/1	① 地 覆 (コンクリート)	構造物への影響大 ひびわれ 構造物への影響小	P. 52	無 :1 幅=小, 間隔=粗 :11 幅=小, 間隔=密 :12	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ :57 幅0.3mm以上の曲げ "							
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無 :1	剥離のみ生じている	鉄筋が露出しているが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、腐食が著しい :32									
		変形・欠損	P. 100	無 :1	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である									
		漏水 遊離石灰 錆汁	P. 71	無 :1	漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じているが、錆汁はない :22	ひびわれから著しい漏水や遊離石灰または泥、錆び汁の混入がある :31									
		補修・補強材の損傷	P. 74	無 :1	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる :31									
		その他著しいもの (損傷度 iii のもの)	目視困難 :1	無 :1	破断 変色 劣化	異常な音、振動 漏水 滞水	異常なたわみ うき								
		① 地 覆 (鋼製)	腐食	P. 38	:1	深さ=小, 面積=小 :21	深さ=小, 面積=大 :31	深さ=大, 面積=小 :41	深さ=大, 面積=大 :51						
	亀裂		P. 43	無 :1	線状でない亀裂 :21 線状でも短く、少数。	線状の亀裂が生じている :31									
	ゆるみ 脱落		P. 45	無 :1	ボルトのゆるみ・脱落の箇所が少ない :21	ボルトのゆるみ・脱落の箇所が多い :31									
	変形・欠損		P. 100	無 :1	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である									
	補修・補強材の損傷		P. 74	無 :1	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる :31									
	防食機能の劣化		P. 48	無 :1	塗装> 防食皮膜が変色または局所的なうき :21	塗装> 防食皮膜の劣化範囲が広く点錆が発生 :31									
部分的剥離し下塗が露出 :22 メッキ> 局所的に防食 :23 皮膜が劣化し点錆が発生					メッキ> 防食皮膜の劣化範囲が広く点錆が発生 :33										
その他著しいもの (損傷度 iii のもの)	目視困難 :1	無 :1	破断 変色 劣化	異常な音、振動 漏水 滞水	異常なたわみ										

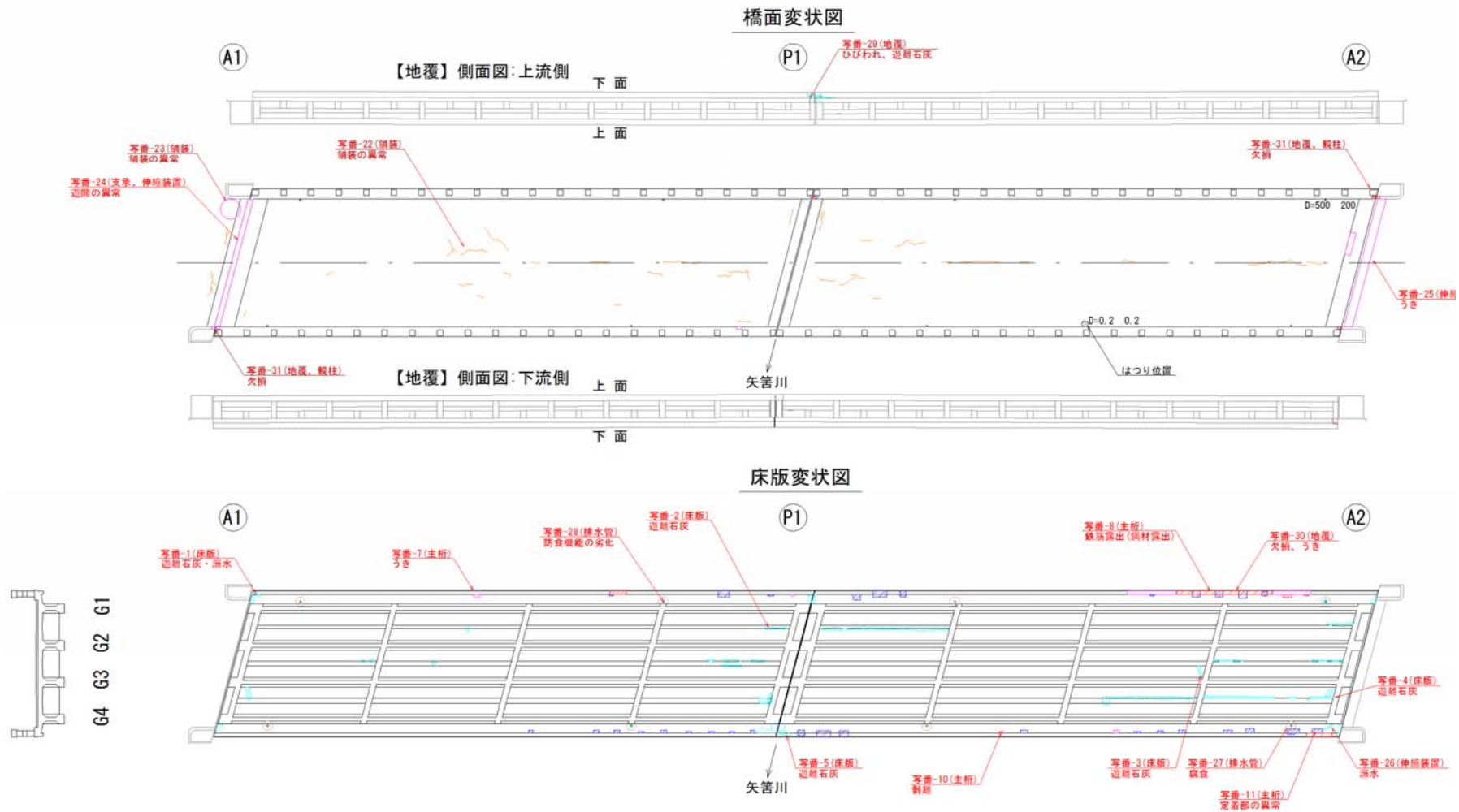
橋りょう番号・名称				架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本			■点検日 2020. 2. 12		
371812103145- 大父橋				S36 (1961)		38. 9m 2 ホースT桁		所在地		琴浦町大字大父		路線名	高岡大父木地線		
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)								緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)	除 外 できる 要因の 抹 消
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分						
定期 点検 調査 その11 路上部3・高欄、 評価#1/1	② 鋼製高欄 防護柵 (ガードレール)	腐食	P. 38	:1	深さ=小, 面積=小 :21	深さ=小, 面積=大 :31	深さ=大, 面積=小 :41	深さ=大, 面積=大 :51							
		亀裂	P. 43	無	:1 線状でない亀裂 :21 線状でも短く、少数。	:31 線状の亀裂が生じている									
		ゆるみ 脱落	P. 45	無	:1 ボルトのゆるみ・ :21 脱落の箇所が少ない	:31 ボルトのゆるみ・ :31 脱落の箇所が多い									
		変形・欠損	P. 100	無	:1 ・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	:31 ・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である									
		補修・補強材 の損傷	P. 74	無	:1 軽微な損傷が見られる	:31 著しい損傷が見られる									
		防食機能の劣化	P. 48	無	:1 塗装> 防食皮膜が :21 変色または局所的なうき 塗装> 防食皮膜が :22 部分的剥離し下塗が露出 メッキ> 局所的に防食 :23 皮膜が劣化し点錆が発生	:31 塗装> 防食皮膜の劣化範囲が 広く点錆が発生 :33 メッキ> 防食皮膜の :33 劣化範囲が広く点錆が発生									
		その他著しいもの (損傷度iiiのもの)	目視 困難	:1 無	:1 破断 変色 劣化	異常な 音, 振動 漏水 滞水	異常な たわみ								
	③ Co高欄 (壁式)	構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	:1 幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	:36 幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31	:46 幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	:56 幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ, :57 幅0. 3mm以上の曲げ "							
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無	:1 剥離のみ生じている	:31 鉄筋が露出してい るが、腐食は軽微 :32 鉄筋が露出し、 腐食が著しい									
		漏水 遊離石灰 錆汁	P. 71	無	:1 漏水が生じているが、 :21 錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じて :22 いるが、錆汁はない	:31 ひびわれから 著しい漏水や遊離石灰 または泥、錆び汁の混入 がある									
変形・欠損		P. 100	無	:1 ・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	:31 ・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である										
補修・補強材の損傷		P. 74	無	:1 軽微な損傷が見られる	:31 著しい損傷が見られる										
その他著しいもの (損傷度iiiのもの)		目視 困難	:1 無	:1 破断 変色 劣化	異常な 音, 振動 漏水 滞水	異常な たわみ うき									

橋りょう番号・名称	オオブashi	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本	点検日	2020. 2. 12
371812103145-	大父橋	S36(1961)	38.9m	2	ボースT桁	所在地	琴浦町大字大父	高岡大父木地線	

定期点検調査その12 変状位置図

1/9

変状位置図



凡例 (舗装変状)

	ポットホール・縦溝
	舗装ひび割れ
	土砂露出
	排水孔

凡例 (conひび割れ)

	幅<0.3mm
	0.3mm<幅<1.0mm
	幅>1.0mm

凡例 (con変状)

	剝離
	浮き
	鉄筋・鋼材等露出
	腐蝕・塩害等
	近継石灰露出
	湧水・湧水浸透等

凡例 (鋼材変状)

	腐食・傷
	その他変状

写真番号	写真①
------	-----

変状位置図

3

定期点検調査その12 変状位置図

3/9

A1橋台変状図

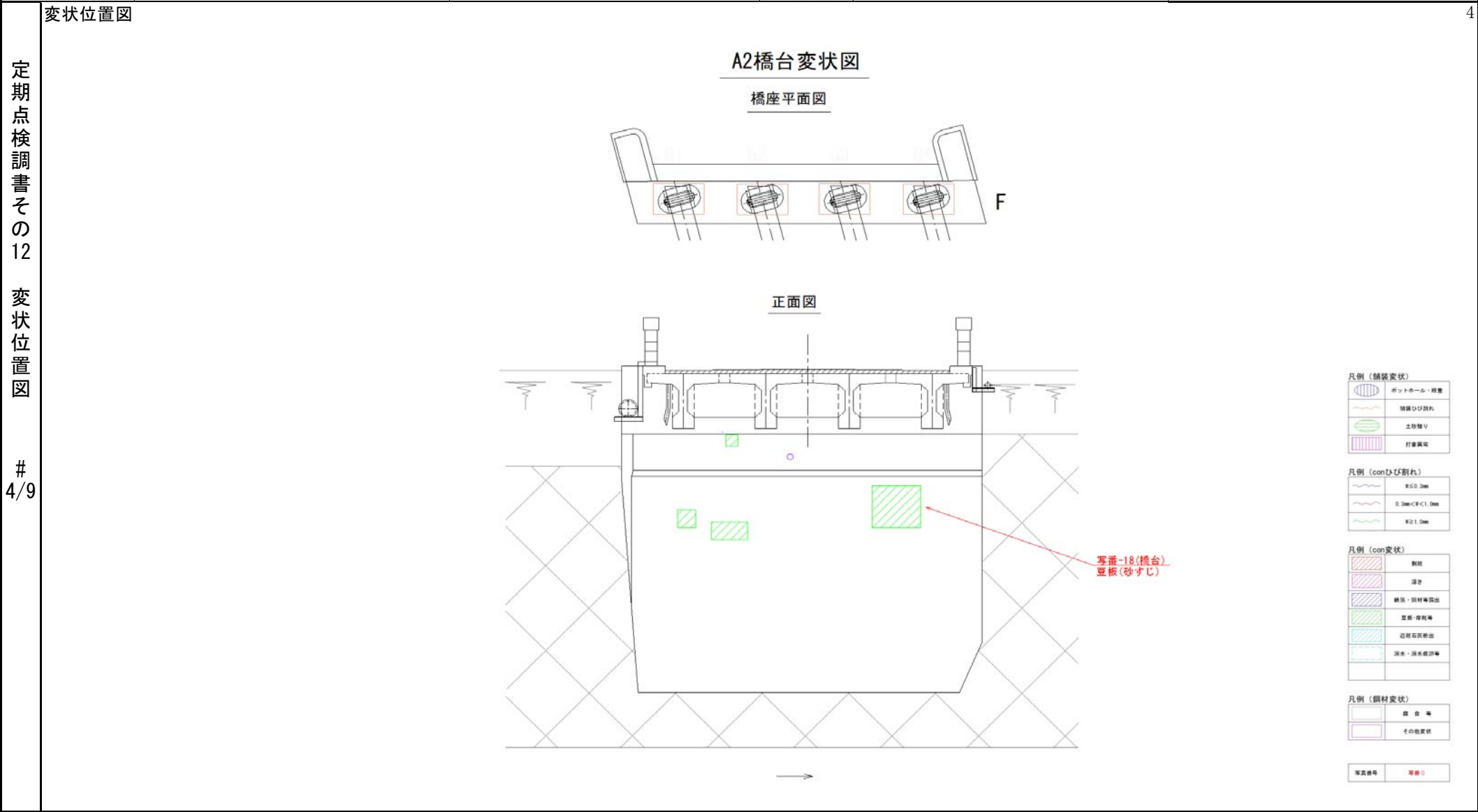
側面図(下流側)

橋座平面図

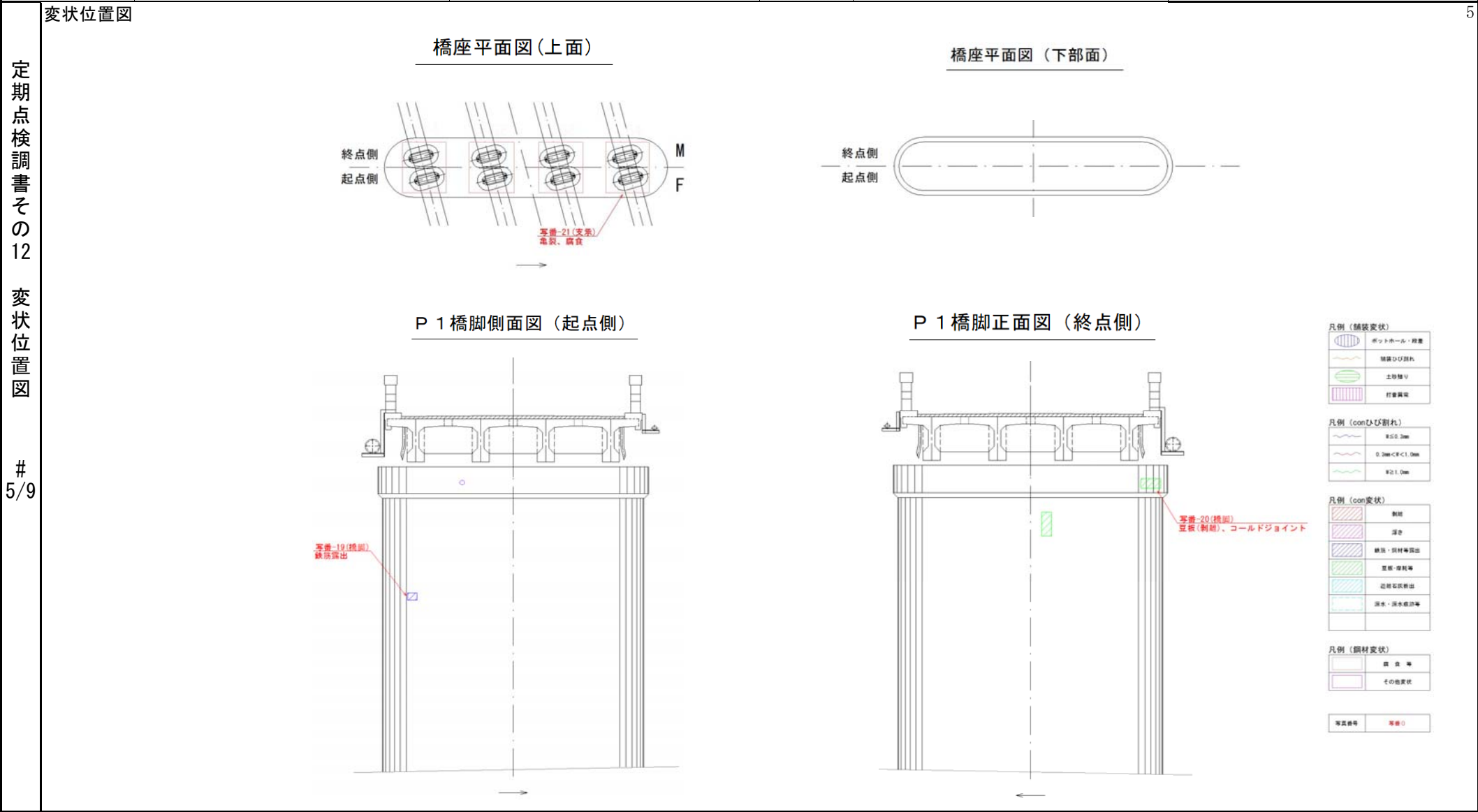
正面図

凡例 (舗装変状)	
	ポットホール・縦溝
	縦溝ひび割れ
	土砂露り
	排水孔
凡例 (conひび割れ)	
	R:0.2mm < R < 0.3mm
	0.3mm < R < 1.0mm
	R:1.0mm
凡例 (con変状)	
	剥離
	浮き
	剥落・部材露出
	鉄筋・腐蝕等
	表面石状剥落
	漏水・湿気等
凡例 (鋼材変状)	
	腐食等
	その他変状
写真番号	写真

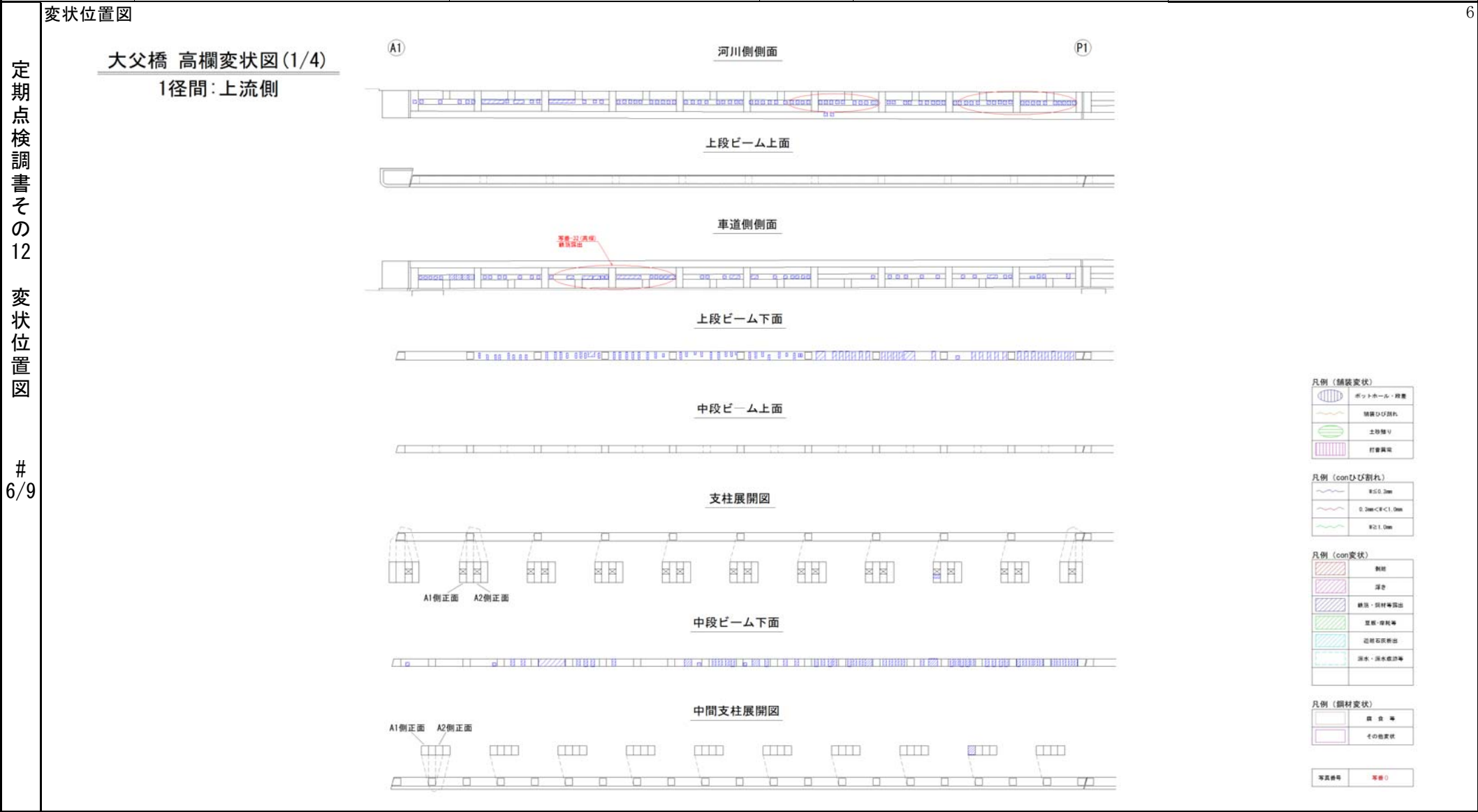
橋りょう番号・名称	オオブashi	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本	点検日	2020. 2. 12
371812103145-	大父橋	S36(1961)	38.9m 2	ポ	スT桁	所在地	琴浦町大字大父	高岡大父木地線	



橋りょう番号・名称	オオブashi	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本	点検日	2020. 2. 12
371812103145-	大父橋	S36(1961)	38.9m	2	ポステン桁	所在地	琴浦町大字大父	高岡大父木地線	



橋りょう番号・名称	オオブashi	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本	点検日	2020. 2. 12
371812103145-	大父橋	S36(1961)	38.9m 2	ホ	スT桁	所在地	琴浦町大字大父	高岡大父木地線	



橋りょう番号・名称	オオブashi	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本	点検日	2020. 2. 12
371812103145-	大父橋	S36(1961)	38.9m	2	ボーステン桁	所在地	琴浦町大字大父		高岡大父木地線

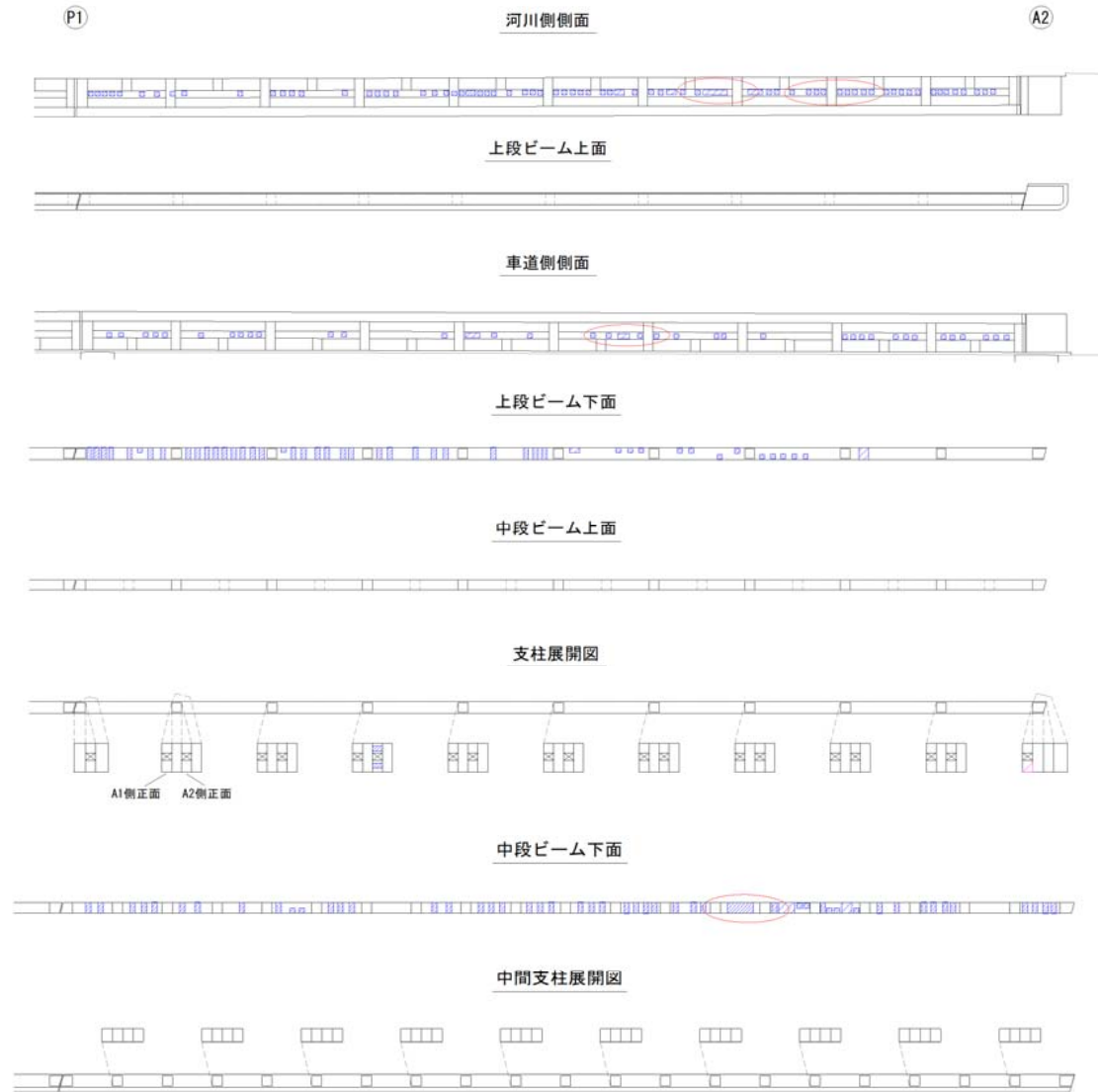
定期点検調査その12

変状位置図

7/9

変状位置図

大父橋 高欄変状図 (2/4)
2径間：上流側



凡例 (舗装変状)	
	ポットホール・割れ
	舗装ひび割れ
	土砂露り
	交通安全

凡例 (conひび割れ)	
	0.5mm
	0.5mm < R < 1.0mm
	R > 1.0mm

凡例 (con変状)	
	剥離
	浮き
	鉄筋・鋼材露出
	変形・変形等
	近接石露出
	漏水・漏水感等

凡例 (鋼材変状)	
	腐食等
	その他変状

写真番号	写真①
------	-----

橋りょう番号・名称		架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	■点検日 2020. 2. 12	
371812103145-		大父橋	S36(1961)	38.9m 2	ホ°スT桁	所在地	琴浦町大字大父	高岡大父木地線
定期点検調書その13 劣化・損傷状況写真 # 1/9	写番 1: 床版01 損傷状況: 遊離石灰 損傷度: ii ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等					写番 2: 床版02 損傷状況: 遊離石灰 損傷度: ii ※写番の後は 部材名+要素		
						 		
	写番 3: 床版03 損傷状況: 遊離石灰 損傷度: ii ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等					写番 4: 床版04 損傷状況: 遊離石灰 損傷度: ii ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等		
								

橋りょう番号・名称		架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本		■点検日 2020. 2. 12			
371812103145-		大父橋		S36(1961) 38.9m 2 ホースT桁		所在地		琴浦町大字大父		高岡大父木地線	
定期点検調書その13 劣化・損傷状況写真 # 2/9	写番 5: 床版05 損傷状況: 遊離石灰 損傷度 : ii ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等					写番 6: 主桁01 損傷状況: 鉄筋露出 損傷度 : ii ※写番の後は 部材名+要素					
						 					
写番 7: 主桁01 損傷状況: うき 損傷度 : iii ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等					写番 8: 主桁01 損傷状況: 定着部の異常 損傷度 : iii ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等						
											

橋りょう番号・名称		架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本		■点検日 2020. 2. 12			
371812103145-		大父橋		S36(1961) 38.9m 2 ホ° ステンT桁		所在地		琴浦町大字大父		高岡大父木地線	
定期点検調書その13 劣化・損傷状況写真 # 3/9	写番 9: 主桁04 損傷状況: 鉄筋露出 損傷度 : ii ※写番の後は 部材名+要素					写番 10: 主桁04 損傷状況: 剥離 損傷度 : ※写番の後は 部材名+要素					
											
	写番 11: 主桁04 損傷状況: 定着部の異常 損傷度 : iii ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等					写番 12: 横桁 損傷状況: 定着部の異常 (鋼材露出、剥離) 損傷度 : iii ※写番の後は 部材名+要素					
											

橋りょう番号・名称		オオブashi		架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本		■点検日 2020. 2. 12	
371812103145-		大父橋		S36(1961) 38.9m 2 ホースT桁		所在地		琴浦町大字大父		高岡大父木地線	
定期点検調査その13 劣化・損傷状況写真 # 4/9	写番 13: 横桁 損傷状況: 定着部の異常 (うき) 損傷度 : iii ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等					写番 14: 横桁 損傷状況: 鉄筋露出 損傷度 : i ※写番の後は 部材名+要素					
						 					
	写番 15: 横桁 損傷状況: うき 損傷度 : i ※写番の後は 部材名+要素					写番 16: 橋台01 損傷状況: 欠損 損傷度 : ii ※写番の後は 部材名+要素					
	 					 					

橋りょう番号・名称	オオブバシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本	■点検日 2020. 2. 12
371812103145-	大父橋	S36(1961)	38.9m	2	ホースト桁	所在地	琴浦町大字大父	高岡大父木地線

定期点検調査その13
劣化・損傷状況写真
5/9

写番 17: 橋台01

損傷状況: うき

損傷度: iii

※写番の後は
部材名+要素



写番 19: 橋脚P1

損傷状況: 鉄筋露出

損傷度: ii

※写番の後は
部材名+要素



写番 18: 橋台02

損傷状況: 豆板(砂すじ)

損傷度: ii

※写番の後は
部材名+要素
(番号, 細分)等



写番 20: 橋脚P1

損傷状況: 豆板(剥離)、コールドジョイント

損傷度: ii

※写番の後は
部材名+要素
(番号, 細分)等



橋りょう番号・名称		オオフバシ		架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本		■点検日 2020. 2. 12					
371812103145-		大父橋		S36(1961) 38.9m 2 ホースT桁		所在地		琴浦町大字大父		高岡大父木地線					
定期点検調査その13 劣化・損傷状況写真 # 6/9	写番 21: 支承 損傷状況: 亀裂、腐食 損傷度 : iii、v ※写番の後は					写番 22: 舗装01 損傷状況: 舗装の異常 損傷度 : i ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等									
															
	支承0101					支承0103									
	写番 23: 舗装 損傷状況: 舗装の異常 損傷度 : iii ※写番の後は					写番 24: 支承、伸縮装置 損傷状況: 遊間の異常 損傷度 : ii ※写番の後は									
															
天端コンクリートの隙間					路肩端部の空洞化					橋台01上流			橋台01下流		

橋りょう番号・名称		オオブashi		架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本		■点検日 2020. 2. 12	
371812103145-		大父橋		S36(1961) 38.9m 2 木造桁		所在地		琴浦町大字大父		高岡大父木地線	
定期点検調査その13 劣化・損傷状況写真 #7/9	写番 25: 伸縮装置 損傷状況: うき 損傷度 : iii ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等 					写番 26: 伸縮装置 損傷状況: 漏水 損傷度 : iii ※写番の後は 部材名+要素 					
	写番 27: 排水管 損傷状況: 腐食、欠損 損傷度 : iv、ii ※写番の後は 部材名+要素 					写番 28: 排水管 損傷状況: 防食機能の劣化 損傷度 : iii ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等 					

橋りょう番号・名称		オオブバシ	架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本		■点検日 2020. 2. 12			
371812103145-			大父橋		S36(1961) 38. 9m 2 ホースT桁		所在地		琴浦町大字大父		高岡大父木地線	
定期点検調書その13 劣化・損傷状況写真 # 8/9	写番 29: 地覆 損傷状況: ひびわれ、遊離石灰 損傷度 : iii、ii ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分) 等					写番 30: 地覆 (水切りコンクリート) 損傷状況: 欠損、うき 損傷度 : iii、iii ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分) 等						
												
	写番 31: 地覆、親柱 損傷状況: 欠損 損傷度 : ii ※写番の後は					写番 32: 高欄 損傷状況: 鉄筋露出 損傷度 : iii ※写番の後は						
												
橋台01下流					橋台02上流							
												

橋りょう番号・名称		オオブバシ		架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本		■点検日 2020. 2. 12	
371812103145-		大父橋		S36(1961) 38. 9m 2 木°ステンT桁		所 在 地		琴浦町大字大父		高岡大父木地線	
定期点検調書その13 劣化・損傷状況写真 # 9/9	写番 33: 高欄 損傷状況: 欠損 損傷度 : ii ※写番の後は 部材名+要素					写番 34: 高欄、親柱 損傷状況: うき、欠損 損傷度 : iii、ii ※写番の後は					
											
写番 35: 損傷状況: 損傷度 : ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等					写番 36: 損傷状況: 損傷度 : ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等						

■ オオブashi			■ 架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種			琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本			■ 点検日 2020. 2. 12	
371812103145- 大父橋			■ S36(1961) 38. 9m 2 ホースT桁			琴浦町大字大父			高岡大父木地線	
定期点検調書 その14 概算数量 # 1/1	項 目	単位	概算数量	摘 要 (精 度)			適 用 部 材 ・ 工 法	単位	算出数量	摘 要 (算 定 式)
				資料	図測	推定				
	コンクリート主桁本数	本	4		○		①床版上面 (床版防水, 上面増厚)	m ²	163. 4	(B-0. 5×2) × L
	コンクリート主桁高	m	0. 70		○		①床版下面 (炭素繊維接着, 鋼板接着, 断面修復)	m ²	203. 8	床版支間×L×(F-1) × α
	コンクリート主桁下幅	m	0. 45		○		①鋼主桁, 横桁, 縦桁等 (再塗装)		0	鋼橋塗装面積
	コンクリート横桁本数	本	10		○		①Co. 主桁 (表面塗装, 断面修復, 電気防食)	m ²	287. 9	(主桁高×2+下幅) × L×N× α
	コンクリート横桁長 (平均)	m	2. 40		○		①Co. 横桁 (〃)	m ²	44. 4	(〃) × 横桁長×本数× α
	鋼橋塗装面積	m ²								
	A1橋台高 (フーチング除く)	m	2. 70		○		②A1橋台 (表面塗装, 断面修復, ひびわれ補修, 含浸材塗布, 鋼板接着等)	m ²	11. 3	A1H×(B-0. 5×2) × α
	A2橋台高 (〃)	m	6. 40		○					
							③A2橋台 (〃)	m ²	26. 9	A2H×(B-0. 5×2) × α
	P1コンクリート橋脚高 (〃)	m	5. 80		○		④ ₋₁ P1コンクリート橋脚 (〃)	m ²	73. 1	P1H×(W+T) × 2× α
	P2コンクリート橋脚高 (〃)	m					④ ₋₂ P2コンクリート橋脚 (〃)	m ²	0. 0	P2H×(W+T) × 2× α
	P3コンクリート橋脚高 (〃)	m					④ ₋₃ P3コンクリート橋脚 (〃)	m ²	0. 0	P3H×(W+T) × 2× α
	P4コンクリート橋脚高 (〃)	m					④ ₋₄ P4コンクリート橋脚 (〃)	m ²	0. 0	P4H×(W+T) × 2× α
	P5コンクリート橋脚高 (〃)	m					④ ₋₅ P5コンクリート橋脚 (〃)	m ²	0. 0	P5H×(W+T) × 2× α
	P6コンクリート橋脚高 (〃)	m					④ ₋₆ P6コンクリート橋脚 (〃)	m ²	0. 0	P6H×(W+T) × 2× α
	コンクリート橋脚幅 (加重平均)	m	5. 40		○		⑤支承 (取替え)	基	16	支承基数
	コンクリート橋脚厚	m	0. 90		○		⑥舗装 (打替え)	m ²	163. 4	(B-0. 5×2) × L
	鋼製橋脚塗装面積	m ²					⑦伸縮装置 (取替え)	m	12. 6	(B-0. 5×2) × (径間数+1)
							⑧地覆 (表面塗装, 断面修復, ひびわれ補修等)	m ²	116. 7	0. 5×6×L× α
	鋼製高欄塗装面積(要塗装のとき"1")	m ²					⑧鋼製高欄 (再塗装ほか補修)	m	78	L×2
	コンクリート高欄高	m	0. 80		○		⑧コンクリート高欄 (取替え)	m	77. 8	L×2
	支承基数(ベタの場合は面積:m ²)	基・m ²	16		○		⑧ガードレール防護柵 (取替え)	m	77. 8	L×2
	落橋防止装置	基								
							①全面吊り足場	m ²	202. 3	B×L
							②, ③橋台枠組足場 (合計)	掛m ²	38. 2	AnH×(B+0. 5×2)
	補修橋長 (諸元の橋長と不一致のとき)	m					④橋脚枠組足場 (合計)	掛m ²	96. 3	PxH×(W+T+2. 0) × 2× 構成数
	補修幅員 (諸元の幅員と不一致のとき)	m								
							○詳細調査, 補修実施設計	式	1	あわせて 1式とする

※ 計算式の記号は L:橋長, B:全幅員, F:床版通り数, N:主桁通り数, AnH:An橋台高, PxH:Px橋脚高, W:橋脚幅, T:橋脚厚とする。
αは補修率 (面補修のとき: 1. 0, 厚さ補修のとき: 厚さ) を示す。

橋りょう番号・名称		オオブバシ				■ 架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種				琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 川田, 山本				■ 点検日 2020. 2. 12	
371812103145-		大父橋				■ S36(1961) 38. 9m 2 ホ° ステンT桁				琴浦町大字大父				高岡大父木地線	
定期点検調書その15 補修履歴・補修後の変状発生と時期 # 1/1	番号	補修時期 (西暦)	目的・対策要因	補修部材	補修工法	補修内容・数量	表面被覆材の変状発生・時期		断面修復材の変状発生・時期						
							はくり	はらみだし	変色・劣化	変形・欠損					
	最新1		鋼橋の再塗装	主桁, 横桁等											
	最新2		舗装の更新	路面											
	最新3		伸縮装置の取替え												
	最新4		支承の取替え												
	最新5		高欄・防護柵の取替え												
	最新6														
	最新7														
	最新8														
	最新9														
	最新10														

※ 補修後の変状は、無ければ“-”，あれば日付を記入する。

